

## 一冊の本との出会い

私が出あった、建築に関する本の紹介を是非したいと思います。それは新聞の広告に掲載されていたのですが、偶然出会いました。その本のサブタイトルは『建ててしまった人は、読まないでください。ショックを受けますから！』自分の心を強烈に震撼させました。普通の住宅に関する本は割りと当たり障りが無いのが通例ですが、この本の中身は違います。本当にお施主様の立場になって書いてあるのです。私はこの本の内容を全て掴むのは、100回読んでも掴みきれないのではと思います。この本を私のバイブルにしようと思いました。実際私の住んでいる家はツーバイフォーで出来ています。そして来年で20年になって外壁の塗り替えもしなくてははいけないのですが、塗り替え時にこの本に掲載されている何かを、実行したいと思っています。私は決してこの本の回し者では有りません。材木屋と言う視点では無くユーザーとして読んで感動したから、皆様に是非報告したかったのです。



## ブログ開設

最近の若い者が盛んにやっているブログと言う物を、木材バカの服部雅章が開設したものです。私の新聞を読んでいる得意先の方から、新聞をブログ形式にしたら良いのにとアドバイスを受けましたが、私の考えは、新聞はあくまで活字文化の日本人に合うものである。ブログは、私より若い者に合うものであると考えました。現代社会の時代変化のスピードは我々の考えるより遥かに速く変わっています。確かに我々熟年労働者は、知識及び知恵は持っていますが、それを伝える手段が若干苦手だと思います。しかし我々が子孫に伝えて行かなければならない、物作りのノウハウとか、物作りの哲学の継承をしなくなったら日本は滅んでしまうのではないかと、思い私の懇意にしているシステムエンジニアにお願いしてブログを開設しました。スタートなので不手際も有ろうと思いますが、どうか気軽に書き込んで下さい。

URLは <http://www.hattoriwood.jp/blog/>です

## 勉強会をしませんか？

原木を製材している所を、是非お見せしたいと思っていますが、ご興味有りませんか？

と言うのは、木材価格は高いと言われる方が、弊社のアンケートで80%以上の方からご指摘を受けましたが、我々木材業者は木の値段は決して高くないと考えております。しかしこちら側つまり材木業者が幾ら講釈を述べたってご理解を賜る事は出来ないと思いました。それではどうしたら木の値段が決して高くないと、思っただけなのか？と考えました。そうして到達した一つの答えが、製材する所をお見せしたら良いのではと、私は考えました。針葉樹をお見せ出来るのか、広葉樹になるかは先の話なので解りませんが、出来たらナラ・タモ等の広葉樹の方が良いのではと考えています。最高の原木と卓越した製材技術をお見せさせていただきます。300年生の天然林から伐採された原木の製材を見たら感動を覚えて帰って頂け、そしてユーザー様に本当の木の良さを知らせる知識を身に付けて頂けると思っています。きっと楽しい一日だったなーと感じて頂けると思います。

ところで私はどちらかと言うと、大勢の前で喋るのは、苦手です。しかし製材は凄く好きな仕事です。私の思っている本当の木の良さを、私が原木を製材する所を見て頂ければ、何か肌で感じて頂ける物が有ると思っています。そして見ていただけたら、最後に私流では有りますが、ご説明はさせていただきます。土曜日の午後から、したいと思っていますので、(アンケート) 応募下さい。

# 木材表示の話し第一回

## (等級編)

### 広葉樹編

広葉樹はキズの大きさによって等級分けが行われています。つまり一枚の板からどれ位のサイズのクリアー材が何枚取れるかを基準に格付されます。一番上の等級はFAS（ファースト・セレクト）次はNO1グレード、そしてNO2グレードと称されています。これが一般使われている代表的なNHLAルールの内容です。アメリカ広葉樹の等級ルールが世界のスタンダードになっています。

しかし日本国内の等級はNHLAとは少し違っています。FAS・NO1・NO2と言う等級表示は同じですが、所謂、節等の欠点は、入っていません。ナラの板を例に出せばFASとは、殆んど赤身の材です。NO1とはシラタが多い材です。NO2はヤケの入った材です。と言う事は基本的に無節が当たり前なのです。そういう等級付けなので、1ドル360円の時代、日本のナラの板が遥々ヨーロッパに輸出されていた事は世界一優れた等級だった証拠なのです。

### 針葉樹編

国産針葉樹は基本的に節と丸みが等級付けの基本になっています。まず節の大きさの等級付けは小節、上小節、無節と言う表示になっていますが、広葉樹との等級付けの違いは小節と単数表示するのではなく一面小節とか二面小節とか表示します。その理由は柱を例にすれば、『柱は四面有ります、その四面に表示が発生するのです。』表示が複数表示になるのです。

次に丸みの表示で等級分けする。丸みの殆んど無い材を特一等、少し丸みの有る材を一等というのです。そして丸みの多い材を一等並みとか呼んでいます。

従って柱の最高の等級材は特一等四方無節が、一番上の等級になります。

## (産地編) 産地情報は木材価格に非常に関係している。

木材価格は産地によって大変違います。例えば針葉樹の代表的な桧では家屋に使う3メートルの105ミリ角の柱になる直径18センチの原木は九州の日田地方で約30年、四国で50年、本州サイドで約70年の樹齢が必要になります。年数が多く掛かると言う事は木が美しい表情を、より多く取り込んでいるのです。美しい表情とはただ単に目合いが美しいだけではなく、CO2をより多く取り込んで環境にも、良い証拠なのです。

同じ針葉樹でスプルースと言う樹種においては、アラスカ、カナダと二大産地がありますが、アラスカ産の方が高品質です。従ってアラスカ産の方が価格は少し高いです。

広葉樹で言うと、桂という樹種は日本固有の樹種ですが、北海道の日高地方が一番良い産地です。例えば50センチの原木があるとします、日高地方と北見地方にそれぞれ桂はありますが、北見地方の方が少し原木は太いです。日高地方の方が少し細いです。普通太い原木の方が歩留まりは高い筈なのですが、実際製材してみると圧倒的に日高地方の桂がよく出来ます。又お客様にも高品質な商品を提供出来ます。産地と言うキーワードは大事な要素です。

桧の芯持ち柱は105ミリ角と120ミリ角を比べるとm3（立法）当たりの単価は、役物（色物）は105ミリの方が高いです。しかし一本単価にするとあまり差はないです。**(材木屋の常識の話)**

弊社からアンケートを出させて頂き、別途大変貴重な事を書いて返事を頂いております、厚く御礼申し上げます。そこに書いてあった事を自分なりに返事しなければならぬと思いましたが、木材バカの服部雅章が、説明出来る範囲内でひとつひとつお答えしていこうと思っていますので、お気軽に空欄に書いて下さい。

## 価格について疑問に思う事。

建築士によくフローリングの値段をお聞きすると、平米当たり 6,000 円前後の物（最近ではホームセンターでも販売されている、中国からの輸入材所謂ユニタイプ 1820 ミリの長さで厚み 15 ミリ巾 90 ミリの商品）が、一番当たり障りなく思っていたに感じますが、立法単価に直すと 400,000/m<sup>3</sup> になります。その値段が本当にお施主様を納得して頂けるか、私は非常に疑問に思います。

家にはフローリング以外に造作材とか構造材等の他の部材は多く必要としますがフローリングに比較して価格は非常に安い部材です。少し値段の高い物は造作材等の部材ですが、一軒の家で多く使っても約 1 立方位です。それが立方あたり 800,000 円でもたかが 800,000 円ではありませんか？

ところで一戸建て約 4800 万の木の家には私は住んでいます。無垢の木材を多く使用しています。ドア等まで全て本場の職人芸で作上げた無垢の内装材ですが、それでも約 4 m<sup>3</sup> です。立方あたり 800,000 円でも総額 3,200,000 円です。4800 万 ÷ 320 万で 15% です。本当に僅かのウエイトでは有りませんか！

度々で申し訳有りませんが、私の家を例に出すと、家に付属する木材以外の設備例えば、什器の値段となるとかなり高額の商品が付いています。シャンデリア等の照明、お風呂等の給湯設備などがそうですが、それを立方あたりに直すと恐ろしい単価になるではありませんか？何故木材がそれらと比較しても実に安いでは有りませんか！

又こういう設備は約 10 年から 20 年が寿命です。現在色々更新していますが、結構高く付いています。本当に木材は安いな一と感じています。以前の服部新聞でお知らせしましたが、私の家の場合、設備の老朽化に伴いフルセントラルヒーティングから、部屋ごとの個別冷暖房設備に変更しています。そうした方がライフサイクルコストから見ると圧倒的に安いのです。

以前娘の部屋の木をふんだんに使ったフルリフォームを実施しましたが、電気代の安くなったのには、本当に家内は喜んでいました。夏の熱帯夜の夜 1 1 時迄冷房を入れ、それからスイッチを切りますが、朝娘が起きるまで、冷気が保っているでは有りませんか！又冬場も暖気が朝までもっているでは有りませんか！そして娘が本当に風邪を引かなくなったのには、驚くばかりです。これが無垢の木の良さでは有りませんか！

家は自動車と違い学習チャンスが少なく普通は一生に一度の買い物です。従って物凄く考えなければいけない商品なのですが、何故か〇〇ホームの偽物の家が売れるのは何故なのか不思議で仕方が有りません。

木材価格が高く付くと思われる要素はこういう場合ではないかと思える所は有ります。

下記の例がその典型ではと、弊社は思っています。

- 1、サイズが多く流通している材と大きく違う場合。(例えば一枚板・巾 800 ミリとか長さ 7 メータの一枚板とか)
- 2、お施主様の希望の部材が、多く流通していない材。(例えば地松の一枚板とか)
- 3、入手先が主体たる流通ルートで無かった場合。

上記の場合弊社は、以下のように考えています。

- 1、サイズ変更が可能か？否か？
- 2、樹種変更が可能か？否か？
- 3、服部商店の持っているあらゆるネットワークを使いご案内致します。

以上の情報が余りに建築士、工務店の皆様に伝わっていないから、木材価格が高いと思われるのではと考えています。

アンケートの欄外にメモでも構いません、何なりと書いて下さい。木材価格は実に安いですよ！

そうすればよくテレビに出演している〇〇ホームの家に勝つことが出来ますよ！もっと一緒に考えて日本人にあった家をつくらうでは、有りませんか！





## 厳しい商社との駆け引き

先月号のアンケートの欄外に、商社との駆け引きについてのコメントがありました。それを少し紹介します。何故紹介しようと思ったのは、木材価格が全般に高いと思われている方々が、大変多い事に関係しているのではと思ったからです。

私の仕入れ先の商社の担当者は、人間的には本当に素晴らしい人間味溢れる方ですが、いざアラスカに仕入れに行くと、何故かシビアーになってしてしまうのです。この事は私も少しは解ります。以前アメリカのウエハウザー社（世界一の木材業者）に訪問したとき、余りに日本とは、世界が違ふと感じたからです。それは先方が凄く巨大なのです。彼らは世界中を相手に商売しているのです。売ってやっていると言うのが、彼らの本当の理屈なのです。以前は、日本は建売住宅に米ツガを多く使い、注文住宅にはスプルー・ス・米ヒバ・米桧を多く使っていました。しかし現在の日本の住宅事情は全く違います。昔に比べ木をふんだんに使いません。しかし使わなくなった理由は、私は解りませんが、こう言う状況で有る事をご理解の上商社との駆け引きの話を、聞いてください。（アメリカシッパーは欲しい原木だけは売ってくれません。あらゆる樹種を込みでないと販売しません。）

原木の交渉をするとき、まず先方は一番の得意先を、大事にします。

その得意先は一回の仕入れ量は少なくても500m<sup>3</sup>です。多いと

1,000m<sup>3</sup>です。弊社は僅か、約40m<sup>3</sup>です。従って商社から見て量のメリットは弊社に魅力はないのです。値段も多分10%程度高く買っていると思います。しかし服部商店は10%高くても20%中身が良ければ10%安く付くと商いをやってきています。昭和3年創業の祖父も父親も同様の考えでして来ました。



そこで核心部分の話しに入ると、本当に欲しい原木は、中々手に入りません。従って外観の良くない中身の良い原木を探すのですが、そうは容易く行きません。商社の方もこちらの事を良く観察して値段を付けてくるのです。

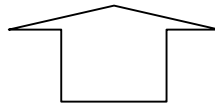
だから仮に5~7本の原木を仕入れ予定の場合、10~15本前後をリストアップしてその中から、先方が譲ってくれる原木を分けていただくのです。先月号で紹介した7本の原木は、全部製材を終了しました。そして結果が出ました。結果は余りに値段が、かけはなれた原木は、実際中身は良くなかったです。節から水割れが多くあり、何も取れませんでした。しかしこの一本を外しては商いしていただけ無かったです。それが商売の駆け引きなのです。こちらに先方に対する量のメリットが無い以上、原木を見る目を、鍛えそして卓越した製材技術でこなさなければ、やっていけないのです。そうしなければ良質の材料を安く提供出来なくなる可能性が有る事を、是非知ってください。

## 伝統文化継承の為に一位原木買い付け

日本で最高の原木それが、イチイと言う木です。一位と言う名前がそれを顕しています。その主な用途は結納の尉姥（ジョウトンバ・お爺さんとお婆さんの一対の一刀彫）なのです。イチイは北海道産の針葉樹の最高の原木です。この樹種も年々低質化が進み原木の大きさも、依然と比較するべくもないほど細径化が進んでいます。弊社は彫刻のお仕事をしている大事な得意先が有り、その方は、日本の伝統文化の継承の為に頑張っています。その為にマイナス20度以下になる北海道の北見地方に仕入れに行っています。

なお優良材のイチイは、北海道北見地方しか無いのです。そして一年に一回しか開催されない銘木市しか出品されないのです。





**FAX番号072-422-8577**

アンケート

Q 1、 原木の製材が見たい。

はい

いいえ

Q 2、 Q 1 ではいとお答えした方に。

一月の第三 土曜日が希望

はい

いいえ

二月の第一 土曜日が希望

はい

いいえ

二月の第三 土曜日が希望

はい

いいえ

|              |  |
|--------------|--|
| <b>御社名</b>   |  |
| <b>ご担当者名</b> |  |
| <b>電話番号</b>  |  |
| <b>FAX番号</b> |  |

株式会社 服部商店  
大阪府岸和田市木材町16-1  
TEL 072-438-0173  
FAX 072-422-8577  
担当 服部雅章